

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービススマイル		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 19日		～ 令和 8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 12日		～ 令和 8年 2月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちができることの「自由度が高いこと」、「選択肢が多いこと」	子どもたちが、したいことを自由に発想し、提案できるような環境を提供している。また、提案をなるべく形にできるよう、職員が個別・集団での活動を提供している。	「外出企画」(電車に乗って遠方へ出かける活動)や、「工作大会」(子どもたちが作品を制作し、展示する活動)、「スマイル銀行」(放課後等デイサービス内で独自の通貨を作り、お金の仕組みについて学ぶ活動)などの大型企画を実施しました。 今後も子どもたちとのコミュニケーションを大切にしながら、活動内容のさらなる充実を図っていきたくと考えています。
2	職員・子どもがともに「個」の思いを大切にしていること	プログラムが固定化しないように、時間割は大枠のみを決めている。子どもたちが自分で考えて活動出来るようにしている	外出や日々の活動を通して、一人ひとりの関わりが広がり、少人数のグループでの交流へとつながるような取り組みを提案していく。
3	活動の幅が広い	員や、子どもの提案に対して「まずやってみて考える」方針をとっており、「失敗」を恐れない方向性を取っている。	活動の幅が広い分、分散して活動している傾向にあるので、個々の状況を職員で把握し、共有する必要がある。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スケジュール(時間割のような流れ)が弱い所がある。	その日、その日で内容を決めている場合もあったり、ざっくりとした時間割が中心になっているので、「自由度の高さ」はあるものの、流れ通りにいかない場合もある。	どこまでの自由度を保持しつつスケジュールの枠組みを重視するかを検討する必要がある。
2	個での活動の比重が高いため就労等を見据えた「集団での活動」が控えめになっている。	個での活動を中心に行っていることもあり、個から小集団、事業所での集団活動に結びつきにくい側面を持っている。また学年や学校が様々なため、下校時間がまばらなことがあり、まとまって活動することが困難である。	学校休業日等の「イベント」から小集団を意識したようなイベントの立案をしていく。
3			